

こぶし通信

Vol.55

2022.8

社会福祉法人こぶしの会

〒630-8424 奈良市古市町529-4

電話 0742-63-6765 FAX 0742-63-6766

e-mail/kokkara@kokkara.jp <http://kokkara.jp/>

発行責任者/坂下 伸一

Column

「飲酒の科学」という本から学ぶ

～物事を変えていく力は、本質や仕組みを認識・理解することから～

社会福祉法人こぶしの会 理事長 坂下 伸一

私の趣味？のひとつに、本屋、古本屋まわりというのが
ある。若いころは、大阪の難波や梅田へ出かけ、一日、本
屋や古本屋をまわって過ごすことも少なくありませんでし
た。本を買うことはあまりなく、立ち読みをしたり、「こ
んな本が出ているのか」「この人はこんなことを書いてい
るのか」等、妙に納得したりして、満足して帰宅するとい
うパターンでした。しかし、コロナ禍で大阪の本屋や古本
屋に行くことも、とんと無くなってしまいました。

本「飲酒の科学」を読む

前置きが長くなりましたが、つい最近、ふらっと本屋に
立ち寄ると「名医が教える『飲酒の科学』～一生健康で飲
むための必修講義」（葉石かおり著、日経BP出版）という
本が目につきました。帯封に「コロナ禍での酒の付き合い
方が激変」「最近お酒に弱くなった」などの宣伝文句にも
惹かれてしまいました。人と一緒にお酒を飲むことが好き
な私にとっては、これは必読書と思い、すぐに本を買って、
読み始めました。

著者の葉石さんは、大の酒好き、自分のそばにはいつも
酒があり、酒を飲みながら多くのことを語らい、果ては酒
に関わる仕事（酒ジャーナリスト）をするようになった人
です。それが「コロナ禍で、自粛する機会が増え、家で飲
む機会が多くなり、酒量も増え、これで良いのかと考え込
むようになった」ということでした。そして、そのことを
きっかけにして「飲む量を減らしたくない酒好き」ととっ
て、「どれくらい飲めばどんな病気のリスクがどれほど上
がるのか、なるべく正確に把握したい」と考え、「世の酒
好き代表して、さまざまな病気のスペシャリストや、酒の
人体への影響について研究する専門家のもとを訪ね、その
専門的知見をできるだけ分かりやすく解説してもらった」
それをまとめたのがこの本とのことでした。その中には、「お
酒をやめられない人は、往々にして飲酒のデメリットへの

認識不足があります。日本では『酒は百薬の長』という言
葉がいまだに信じられていることから、その認識の甘
さがよく分かります。お酒は『嗜好品』ではなく、脳や体
へ影響を及ぼす『薬物』であることを理解しましょう。ア
ルコールはモルヒネと同等の依存性があるというデータも
あります」と書かれてあります。その他、「飲む前に読む
飲酒の科学」「がんのリスクは酒でどれくらい上がるか」「酒
と免疫」などが目次です。

物事を変えていく力

長々と本の紹介をしましたが、酒好きには怖い話、酒を
飲まない人には、必要のない話と叱られるかもしれません
。しかし、話に飛躍があるかもしれませんが、この本か
ら学んだことの一つは、物事を考え、行動に移し、自分を
変えていくためには、その本質や仕組みを認識（知）し、理
解しないと、始まらないということです。

最近の風潮は、SNSやテレビ、新聞で日々流されている
ことを、あたりまえのように受け取り、信じ、同調してい
くことが多いように感じます。様々な視点から、その本質
や仕組みを認識し、理解しないで、多くの人が流されてい
るように思えてなりません。

「日本の障害者福祉はどうして貧しいのだろうか」「どう
してこんなにも貧富の差があるのだろうか」など、日本の
社会は変えていかなければならないことだらけです。その
ためには、その本質や仕組みを学び、よく理解することか
ら始めなければなりません。これからも、こぶしの会は、
学び、知り、理解する努力を仲間、家族、職員、そして後
援会のみなさんと一緒に行っていきたいと思います。

そうだんしつの窓から

こぶしの会相談支援センター 小針 康子

ひとりの大人として、 自分で自分の暮らしをつくること。

グループホームの人手が足りず、6月から毎週泊りの応援に入っています。夜間を含めた連続勤務はアラ還の身には堪えます。が、仲間たちが新しい暮らしに挑戦し、本来持っていたであろう力が自然に引き出されていく瞬間に立ち会えますし、ベテラン勢の懐深い立ち振る舞いに胸が熱くなることも。やっぱり実践現場はワクワクします。

一方、奈良市内では障害者グループホームが乱立して泊りスタッフの取り合いが熾烈化。福祉現場の人手不足は全国的・構造的な問題です。大本は「障害福祉給付水準」の低さ＝福祉労働者の給与水準の低さにあり、とりわけ暮らしの場の支援は「家族でもでき、専門性は必要ない」とばかりに低く抑えられています。障害をもちながら生きてき

た中でつくられてきた生活感・価値観を受け止めながら、その人らしい生活を創り出していく支援。暮らしの場だからこそ求められる専門性を軽視しないでほしい！ こぶしの会も、ホーム職員の入れ替わりがあり、実践の定着にはまだまだ人数も時間も必要です。

「大人として、自分らしい暮らし」を実現するためには、その支え手が人間らしく働ける条件の保障が要るので

す。
8月ジュネーブで障害者権利条約の日本審査が始まります。その19条「地域社会で生活する平等の権利」では、国がそのために必要な措置を講ずること、とあります。世界水準からみて、日本の障がいのある人たちの暮らしの場はいかかなものか。国連権利委員会が日本政府にどんな勧告を出すのか、注視していきたいと思っています。

「困りごとを出し合って考える」は 難しいけど大切な。

こっから NEWS

とうふ工房

とうふ工房の仲間と座談会形式で物価高についての学習会を行いました。

職員A 「なぜ、ガソリンの値段が上がっているのかな？」

仲間 「ウクライナで戦争があるから。」

仲間 「戦争したらあかんのに」

職員A 「パンやお菓子、ジュース等、普段の生活に必要なものや、大好きなハンバーガーやラーメン、電車の運賃までどんな値上がりしていきそうです。皆さんどう思いますか？」

仲間 「きゅうしょくの値段があがると困る」

仲間 「楽しみの手芸に使う、毛糸やフェルト、ヘアゴムアクセサリが高くなって給料が足りず買えなくなったら困る」「銭湯もいけなくなる」

仲間 「話を聞いていてびっくりした。値上げが急で『かなん』（いらん）です。買えなくなったら悲しいし、わかってください。みんな困っています。助けてください」

仲間 「（職員Aさん）、日本の偉い人に高くなるの『かなん』で言ってきて」

職員A 「国の偉い人に『かなん』っていうために今度参議院選挙がある。誰に投票したらいいかまだまだ分かりづらいかもしれないけど、選挙にいこう。」

話し合いの中で出てきた、「日本の偉い人に言ってきて」との仲間の発言が印象的でした。仲間の声をたくさん聴き、困りごとを一緒に伝えていくことを、粘り強く取り組んでいこうと改めて気がつけた座談会でした。

（文責 梅田玲輔）



●ここに

昨年度より取り組み始めた「エゴマ」。仲間が丁寧にピンセットでゴミ取りをし、NPO法人奈良市東部エゴマの郷にてじっくり絞り、ついにオリジナル商品としてエゴマ油が完成しました。とても細かいゴミ除去作業では根気がいりますが、楽しく「ここに」と「すたあと」の仲間がおしゃべりしながら「交流の場」として取り組んでいます。

商品ラベルも仲間の意見により決定し、夏季事業販売でご注文があるたび、「やったー！売れた！」と喜びあっています。ぜひ、ご賞味ください。

●すたあと

今年度より、新しい仕事として奈良市役所近くのマンションの通路と廊下の清掃、駐車場の除草作業に取り組み始めました。また、奈良市男女共同参画センター「あすなら」の清掃にも挑戦しています。毎週、念入りにトイレの床まで磨き、10か所の会議室・相談室の掃除機をかけ、玄関のガラス扉磨きと各々が分担して「本気モード」できれいにしています。回を重ねるごとに清掃技術が向上し、センター職員の方からも「ピカピカになってきましたね！」と声をかけていただけるようになりました。（文責：島 耕治）



グループホーム細腕繁盛記

ふゆーちゃー NEWS

ひまわりが新しくなりすまいる、ぐうぐうハウスと、現在全ホームで25名の方が入居されている状態になりました。すまいるのショートステイもお陰様で堅調に利用して頂いている状態で、数年前と比較しますと目まぐるしく状況が変わっていき、この間色々なことがあったなと改めて思います。

日々の暮らしを支えることの難しさや沢山のパートスタッフとの連絡調整、密になり易い空間でのコロナ対策等、考えないといけないことが沢山ありますが今現在は人手不足の為、管理者も夜間から夜勤を行ったり、すまいるの業務で人手が不足する箇所を総出で埋めたりして日々をどうにか着なく暮らして頂いています。

沢山のスタッフが仲間の「暮らし」を支える。とても慌ただしく、綱渡りの状況ですが25名の仲間一人一人が健康でその人らしい生活を選択していけるようにサポートしたいと思います。仲間が書く短冊に込められた「みんな健康で暮らせますように」や「旅行へいきたい」という思いの願い。中には「SDGsが10年後も続きますように」という高尚な願いも。少しでもサポート出来ますように。そしてこの素晴らしい仕事に携わって頂いている全てのスタッフには感謝しかありません。このテーマを通して仲間

の暮らしにワクワクしつつ、自分自身の成長にも個人的にワクワクしています。今後も慌ただしい中を微力ながら頑張る所存ですが、法人全体の今後をゆっくりとお見守り頂ければと思います。（文責：赤尾信也）



ひまわり大改造。

こんなに大きな変化は人生においても
そうあることじゃない!



以前より通信でも定期的にお伝えしていましたが、今年の4月からひまわりが新しく生まれ変わりました。昨年の6月の引っ越しから今回の新生活の始まりまでをご紹介します。



2021年6月家主さんのご厚意による建て替えのため旧ひまわりより一旦退居。



仮住まいは天理でした。なかなか渋い物件でしたが仲間たちは古くも新しい環境の中でそれぞれの過ごし方を見つけて暮らしていました。



そんな間にも着々と建て替え工事は進んでいきました。さすがに旧ひまわりが解体されたときは色々な思い出が詰まった建物だったので何ともいえないセンチメンタルな気持ちになり、寂しさで涙が出そうになりました。



仲間からの声



あたらしい
ひまわりができてたのしいです。
おへやがすごくなりました。
ゆっくりできています。



あたらしくひまわりにな
ってよかったです。
楽しいです。
みんなでしゃべって楽しいです。
2階にも上がったりします。
あたしくなったので
よかったです。



あれよあれよで10か月…。
いよいよ4月に新しいひま
わりに引っ越し。
新生ひまわりは、今までの
仲間6人に加え、5月より
新たに5名の入居者が入れられ以前の倍に近い人数になりました。1F、2F
に分かれて新しい生活の組み立てを仲間、スタッフと頑張っている最中
です。入居から4か月が経ち、少しずつ自分の立ち位置を模索しながらも、
他の仲間の部屋へ訪問しておしゃべりで盛り上がり、リビングで
ゆったり音楽を聴いて過ごしたり、和気藹々と日々過ごされています。

森本ひまわりは
よくプレーカーが飛んだりしたけど、
職場が近かったり部屋が広かったので好きでした。
新しいひまわりに引っ越しして、新しいベッドになったのが
うれしかったです。階段も心配だったけどスイスイ上りやすくて
1階と2階をよく行ったり来たりしています。
人数が増えてにぎやかになりました。
2階の部屋に集まって
女子トークをするのが楽しいです。

Think about ウクライナ...

きょうされん奈良支部の総会ではロシアによるウクライナ侵攻について、障害のある人がどのような状況にあるのか、藤井克徳専務理事にお話をうかがいました。

藤井さんが書かれたウクライナの障害のある人に向けた詩が7か国語に翻訳され、ウクライナの障害者団体にとどけられ、新聞各紙でも障害のある人の実態が報道され始めました。

藤井さんは、「戦争は大量の障害者を作る最大の悪である」と国際障害者年の時に言われた言葉を引用し、戦争が終わった後も長い不況、食糧難で苦しめられる。戦費は子どもたちまで払うことになる、と語られました。

「障害者は劣った存在である」という優生思想は、わが国でも優生保護法として作られてきました。「戦争が残したおとしもの」と表現されました。

この優生思想に打ち勝つよりどころとして、憲法（特に9条）、障害者権利条約を挙げられました。

なかまからは、

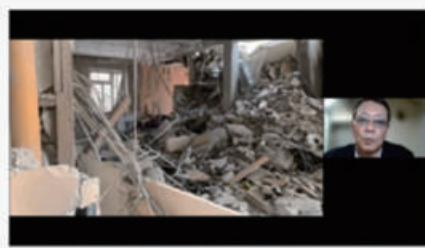
「ごはんがなかったり、葉がなかったら生きていけない」

「私は目が見えないので、避難所にたどり着けないだろうと思う」

「知らない間に武器を作らされていたら...と思うとこわい」

という感想が出されました。

わたしたちは、平和をのぞむことを強く訴え続けていきたいと思います。



2022年奈良支部総会 藤井克徳講演



最新の情報

祝 成人式

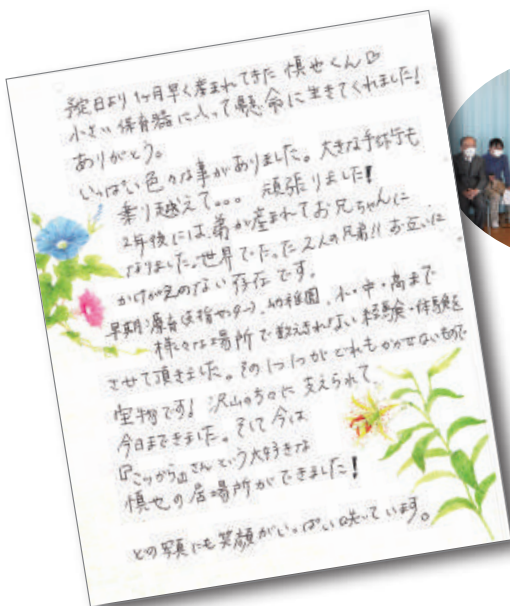
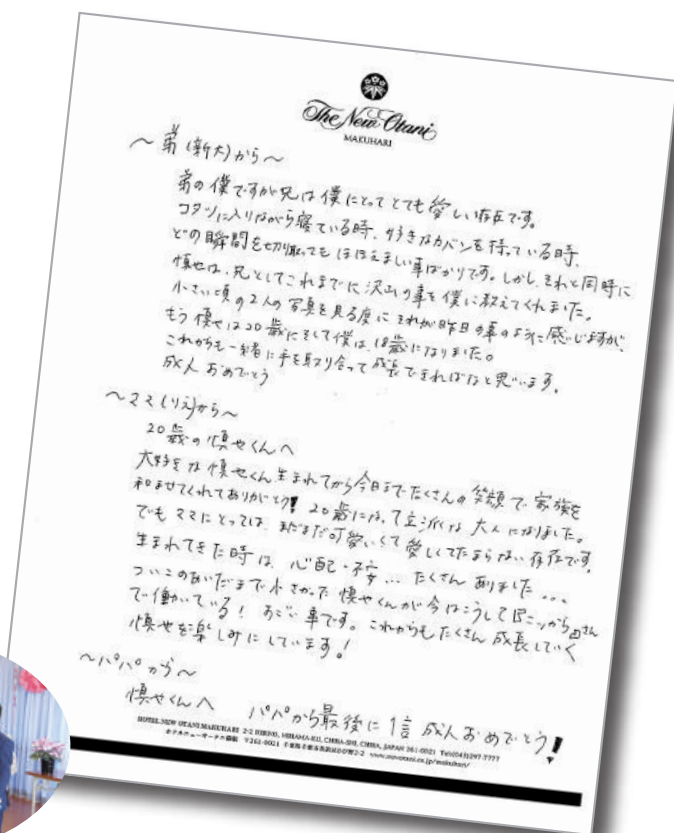
表紙を飾る絵を描いた田中慎也さんが、今年1月、成人を迎えました。

スーツでビシッときめた田中さんの新たな門出をご家族と奈良東養護学校の先生方（ビデオメッセージ）とこっからのみなでお祝いしました。

また仲間のピアノ演奏による「ビリーブ」の合唱を贈りました。

式の準備にあたり、田中さんの小さな頃からの写真をお借りしました。その写真はどれもすてきな笑顔ばかりで、やさしさに包まれてこの日を迎えられたことを感じました。

（文責：川野美幸）



てんかん学習会を行いました。

2021年度の締めくくりとして3月に、法人全体で総括会議を行いました。

各班・事業所の総括を行い、次年度の方針づくりに向かいました。

今回は、「てんかん」についての正しい知識を持ち、専門的な支援が適切に行われるように、「てんかん協会奈良支部」に講師派遣依頼を行い、学習会を組み込みました。

*「てんかん」の基礎知識

*てんかん発作があった時の「その場」での対応と支援について

*ご家族への連絡・報告について（何をどのように伝える必要があるか）

*発作後の受診の必要性について（受診の有無についての判断基準は？）

について、ご自身の息子さんのてんかん発作への対処経験を踏まえながらお話いただきました。たくさんの本やDVDもご寄贈いただき、学習会後も学べるようにご

協力もいただきました。

職員が共通の基礎知識を持つことで、なかまへの支援の質の向上に努めていきたいと思います。



♡♡♡ ありがとう ございました! ♡♡♡
寄 贈

♡西本願寺様より
台下冷蔵庫をいただきました。

以前からお米や野菜の冷蔵スペースが足りず、食材をパズルのように入れ替えながら何とかやり過ごしてきました。昨年12月に「ここに」に届けていただき、お米専用の冷蔵庫として使用しています。安定した温度管理のもと保管することができ、今ではエゴマと一緒に保管できています。作業台としてもひろく活用でき、今ではなくてはならない台下冷蔵庫です。西本願寺様のあたたかいお気持ちに感謝しております。



♡カーブス様より

カーブス様より、フードドライブという家庭にある食料（缶詰やレトルト食品などの保存食品）を会員さんに募り、食料を必要としている女性や子ども達、福祉事業所へ寄付をする社会貢献の一環で、食料品や調味料・お米などを寄贈いただきました。これらの寄贈品は、4か所あるグループホームの食材や法人内の事業所での調理活動・余暇活動で使用したり、同市内の他法人へも配布したり生活支援の一部として活用させて頂いています。いつもたくさんのご寄贈ありがとうございます。



1月 初詣



いつも散歩でお世話になっている白山比咩神社へとうふ工房が新年のあいさつに。コロナ禍が早く終わってほしい…。とお願い。

2月 開所日



この日の開所日は冬の風物詩、凧あげ企画。広い公園で走って凧を風に乗せて。昔ながらの遊びで全身を使い身体ははげがばかです。

3月 地域のクリーン活動

活動班で実施している近隣散歩と地域貢献とこっからの宣伝をあわせてできないか…ということで、週に1回地域のゴミ拾いをすることに。



クリーン活動時に着用の黄色いベストには、活動班の仲間がこっからをアピールする絵や、言葉を記した布をつけています。

4月 お花見



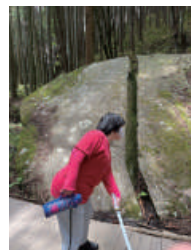
近くの公園でも、例年と変わらずきれいに桜が咲いています。やっぱり春はお花見！青い空と満開の桜に春の喜びを感じます。

5月 母の日



創作の時に母の日を思い出し、日頃の感謝を絵とメッセージに込めて。散歩で見つけたシロツメクサの花束と一緒に。「いつもありがとう。」

5月 パンととうふ合同で外出



ゴールデンウィークの製造休みの間に、パン工房ととうふ工房で柳生に出かけました。みんなで行けるとやっぱり楽しい。アニメで流行した柳生の天野岩立神社の一石に。キレイに真っ二つに割れた石。刀で割ったみたいに見えますね！

5月 散歩



春の陽気の中、思いっきりブランコをこいでいます。ある程度高くなったら高さキープで風を切る。高く上がっているときの表情は満面の笑み。

6月 創作



キレイな淡い色のパステルを指につけて画用紙にトントントン…。優しい色合いで心がほわわがする作品ができあがりました。

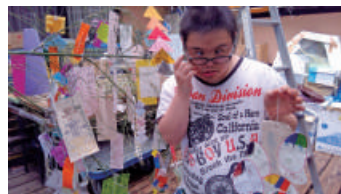
6月 音楽



みんなが大好きな音楽の時間。密にならないように距離を取りながら楽器を演奏したり、ピアノの音を聴いたり。身体を使って楽しんでいます。

7月 七夕

今年は晴れの予報。短冊のお願いは何を書きましたか？お願いも飾りもいつもバラエティーに富んでいるこっからの七夕です。



壁面創作活動



紙すき班と活動班では部屋や共有スペースを季節にちなんだ壁面創作で彩っています。その一部をご紹介します。



5月 こいのぼり(活動)



6月 あじさい(活動)

6月 あじさいとがたつむりたち(紙すき)

2021年度 社会福祉法人こぶしの会 決算公告

貸借対照表 2022年3月31日現在

単位:千円

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	158,448	流動負債	8,742
現金預金	117,047	その他の未払金	350
未収金	36,889	未払費用	1,656
貯蔵品・原材料	1,212	1年以内返済借入金	2,250
他流動資産	3,300	他流動負債	0
固定資産	406,145	賞与引当金	4,486
基本財産	351,758	固定負債	162,500
土地	130,075	設備資金借入金	162,500
建物及び附属設備	221,683		
その他固定資産	54,387		
建物及び附属設備	3,307	負債の部合計	171,242
構築物	16,908	【純資産の部】	
機械及び装置	373	基本金	50,840
車輛運搬具	874	第1号基本金	50,840
器具及び備品	3,688	国庫等特別積立金	70,445
無形固定資産	528	その他の積立金	17,500
工賃変動積立資産	500	次期繰越活動収支差額	254,566
設備等整備積立資産	1,000	次期繰越活動収支差額	254,566
修繕費積立資産	15,000	(うち当期活動収支差額)	(28,218)
その他積立資産	1,000		
差入保証金	400	純資産の部合計	393,351
長期前払費用	10,808	負債及び純資産の部合計	564,592
資産の部合計	564,592		

資金収支計算書

自:2021年4月1日 至:2022年3月31日 単位:千円

	予 算	決 算	差 異
【事業活動による収支】			
就労支援事業収入	20,450	17,878	2,572
自立支援給付費収入	207,820	208,586	-766
利用者負担金収入	18,520	18,156	364
補足給付費収入	1,860	1,810	50
その他の事業収入	50	12	38
借入金利息補助金収入	120	44	76
経常経費寄附金収入	1,000	500	500
受取利息配当金収入	1	1	-1
その他の収入	2,555	2,661	-106
事業活動収入計	252,376	249,648	2,728
人件費支出	172,854	157,505	15,348
事業費支出	24,605	23,035	1,570
事務費支出	21,228	18,324	2,904
就労支援事業支出	20,500	18,554	1,946
支払利息支出	650	527	123
その他の支出	0	90	-90
事業活動支出計	239,837	218,036	21,801
事業活動資金収支差額	12,539	31,612	-19,073
【施設整備等による収支】			
施設設備等補助金収入	0	146	-146
施設整備等寄附金収入	6,850	6,850	0
施設整備等収入計	6,850	6,996	-146
設備資金借入金元金償還支出	2,250	2,250	0
固定資産取得支出	1,450	1,438	12
施設整備等支出計	3,700	3,688	12
施設整備等資金収支差額	3,150	3,308	-158
【その他の活動による収支】			
その他の活動収入計(7)	1,000	1,000	0
その他の活動支出計(8)	16,800	16,808	-8
その他の活動資金収支差額	-15,800	-15,808	8
当期資金収支差額合計	-111	19,112	-19,223
前期末支払資金残高	136,285	136,285	0
当期末支払資金残高	136,174	155,397	-19,223



社会福祉法人こぶしの会では、事業拡大に伴い私たちと一緒に働いてくれる、
正規職員(生活支援員) 非正規職員(生活支援員・グループホーム職員)を募
集しています。

■生活支援員(正規職員)

支 援 内 容	障害のある人たちの仕事や生活のサポート（食品製造・配達、文化活動、健康維持、身辺自立等） 送迎、法人内事業所間の異動有
勤 務 時 間	8時45分～17時30分（配属班によっては早出有り）
給 与 ・ 手 当	183,270円～191,265円（調整手当含む） 賞与2カ月／年 通勤手当、住宅手当、家族手当、処遇改善手当、その他職務手当
社会保険等	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
必要資格等	普通自動車免許（必須）、基本的なPC操作（エクセル、ワード）

※非正規職員も募集しています。1,010円(経験者1,060円)

■グループホーム支援員(非正規職員)

支 援 内 容	グループホームでの生活全般（食事、入浴、整容等）の介助や見守り
勤 務 時 間	16時～翌10時までの宿泊をとまなう勤務 ※またはこの時間内で3～5時間で宿泊をとまなわない勤務についても応相談
給 与 ・ 手 当	1,010円（経験者1,060円） 夜勤手当、通勤手当、業務手当 ※契約時間によって社会保険適用
必 要 資 格	不問

求人は随時おこなっています。詳細・お問い合わせにつきましては、
こっから／梅田(0742-63-6765)又は法人本部／藤井(0742-63-6504)までご連絡ください。

第45回 国会請願署名・募金 報告とお礼

昨年12月より取り組んできた国会請願署名・募金運動。一時、感染が少なかった時期に一度だけ街頭署名をすることができましたが、その後の感染拡大に伴い署名活動もなかなか広がりを見せられませんでした。しかし、「大変な時期だからこそ」といつもより多く募金を頂いたり、「一筆でも多く」と国会議員事務所スタッフの皆さんも署名に協力してくださったりと、仲間や職員の励みになるようなエピソードもたくさんありました。

こぶしの会では、署名 3,491筆、募金 177,613円 が集まりました。

紹介議員は、高市早苗（衆・自民）・奥野信亮（衆・自民）・小林茂樹（衆・自民）・馬淵澄夫（衆・立憲民主）・前川清成（衆・維新）議員の5人が承諾されました。

残念ながら不採択という結果になりましたが、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

表・紙・解・説

■表紙作者プロフィール

タイトル 「アストロミー」

作 者 田中慎也氏

2021年9月に描いた自画像です。

自分の顔写真をみて描きました。

絵の具をつけた筆で、一発勝負で描きました。色は自分で選びました。

タイトルは『アストロミー（天文学）』です。

2022年度社会福祉法人こぶしの会の運営について

2022年度社会福祉法人こぶしの会の運営について、以下の体制となりました。引き続き民主的な法人運営に努めてまいります。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

■社会福祉法人こぶしの会

理事長／坂下伸一 常務理事／古木一夫

■こぶしの会相談支援センター

管理者／小針康子

■コミュニティワークこっから

管理者／梅田玲輔 管理者代理／新谷和博

■ここに・すたあと

管理者／島耕治 管理者代理／新谷和博

■グループホーム春日苑（ぐうぐうハウス、すまいる）

管理者／藤井浩司

■グループホームひまわり

管理者／古木一夫

編集後記

令和の時代になり、想像すらしなかったパンデミックが起きました。感染が広がり始めた当初は、収束するまでの我慢として様々な行動制限を行いみんなで乗り切ってきました。しかし3年目を迎えた今もウィルスは変異し続け、収束の目は立たず、一時的のつもりであった様々な行動自粛も当たり前の風景となりつつあります。こぶしの会の活動の象徴の一つでもあった「こっから祭」も3年連続の中止を決定しました。パンや豆腐の製造販売活動も制限したままです。マッケンジーソープさんが、その仲間の姿を見て「この施設は束縛がなく素晴らしい」と言ってくれた、みんなが楽しみにしていた給食の時間も、班ごとに時間をズラシ、対面せずにそれぞれが違う方向に座りながらバラバラに食べています。人と人とが近づかないように、触れ合わないように、そんな風景が当たり前になっていく中で、これまでのあり方自体を見直すべきではないかとの声も上がるなど新たな課題となっています。時代や環

境の変化によってその時々生き方、考えや感じ方は変わっていきます。こぶしの会の活動もそうやって30数年の時間の流れの中で変化してきました。変わっていくことを恐れずに、でもその原因や背景にしっかりと向き合って、それでも大事に守っていききたいこと、「仲間が主人公」をこれからもいつも真ん中に、正しく変化していききたいと思います。

一方、地域の方々との交流を様々な工夫を凝らしながら続けている「ここに市」（毎週水曜日）や清掃活動、新しい仕事や暮らしへのチャレンジ、平和への願いなど今回の通信もそんなこぶしの会の日々の実践が満載です。直接お会いできない日々が続きますが、紙面を通して仲間の笑顔が届けられれば幸いです。現在こぶしの会では「仲間の願いの拡大」に伴って、一緒に職員として働いてくださる方を募集しています。少しでもご関心がありましたらぜひご連絡ください。（文責：古木一夫）

こちらも
ご覧ください

<http://kokkara.jp/>

・ネットショップ ・活動ブログ
・ニュースブログもお楽しみ下さい。



こっから facebook